

教科シラバス（理科）改訂版

科目名	学年	使用教材	【教科書】
地学基礎	2 年文系		新編 地学基礎（数研出版）
単位数（ 2 ） 必修 ・ 選択			【副教材】 ニューステージ新地学図表(浜島書店)、地学基礎研究ノート(博洋社) リードLightノート地学基礎(数研出版)

【学習目標】

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球をとり巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
--

【学習方法】

○授業は、板書説明形式で行います。重要事項の確認として、書き込み形式のプリントを用意します。 板書用ノート（平常点として要提出）が必要です。
○座学を中心に教科書・図説を用いて授業を展開します。授業に集中し、これまでの自分の経験に照らし合わせて内容理解をして下さい。必要に応じて演習等も行います。
○定期考査、課題考査の対策は大事です。既習内容のチェックとして研究ノートなどで確認作業を行いましょう。
○長期休業中には、「リードLightノート地学基礎」で既習範囲の復習を課題とします。

【学習評価】

次の4観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。						
① 関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。					
② 思考・判断	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。					
③ 技能・表現	観察・実験等を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。					
④ 知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。					
評価方法／観点	①	②	③	④		※考査8割、提出物等2割を基準として評価を行います。
授業態度・出席状況	◎	○	○	○	自己評価の実施	
課題プリント	◎	○	○	◎	適宜点検	
板書ノート 長期休業中課題	○	◎	◎	○	考査後点検 長期休業明け提出	
ペーパーテスト	○	◎	◎	◎	定期考査（年4回）、課題考査（年2回）	

【学習アドバイス】

【学習方法】参照して下さい。
○地学は、地球やそれを取り巻く宇宙について、空間的・時間的に理解を深めていく科目です。文系選択者の履修する地学基礎は、センター試験対策のための学習の面もあり、用語の暗記は始めの段階において必要です。しかし、そればかりでは学習のモチベーションを維持することは困難です。図表や写真を参照しながら学習を進めてください。
○入試対策については、3年生の2学期から少しずつ行いますので、それまでは基本事項をしっかりと授業中心で押さえて下さい。

【1 学期学習計画と 5 月予定表】

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
4			
5	序編 惑星としての地球 第1章 太陽系の天体 第2章 太陽系の誕生と地球の進化	○太陽系の他の惑星と比較しながら、地球の特徴を調べ、地球の誕生について学習する。	休校中の課題提出
6	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造 第4章 火山 火成岩	○地球の大きさに対するスケールを理解し、その歴史を踏まえて学習する。 ○固体地球の層構造や構成物質の化学組成を学ぶ。	授業態度・出席状況 期末考査 板書ノート提出
7	第1編 活動する地球 第4章 火山 火成岩	○マグマの性質と火山の噴火形式と火山の地形の関係を理解する。	授業態度・出席状況

【5 月予定表】

1 回 目	太陽系の惑星 1 惑星	・教科書 p 6～p 11に目を通す ・NHK高校講座「第1編 私たちの宇宙の進化 太陽系の広がり」と地球」動画を視聴し、学習メモの確認と理解度チェックに取り組む	
2 回 目		・前回視聴した範囲のリードLightノート p 2～p 5に取り組む。 ・時間が余ったら、次回範囲（教科書 p 14～p 17）を予習。	
3 回 目	2 地球の進化	・前々回視聴した範囲のリードLightノート p 6～p 9に取り組む ・教科書 p 19のPOINT CHECKにチャレンジ。（解答 p 205）	
4 回 目	活動する地球 1 地球の形と大きさ	・教科書 p 22～p 25に目を通す。 ・NHK高校講座「第3編 私たちの大地 地球の形と大きさ」を視聴して、学習メモの確認と理解度チェックに取り組む。	
5 回 目		・前回視聴した範囲のリードLightノート p 10～p 11(d)と p 13と p 14に取り組む。 ・時間が余ったら、次回範囲（教科書 p 26～p 31）に目を通す	
6 回 目	2 地球の構造	・教科書 p 26～p 31に目を通す。 ・NHK高校講座「第3編 私たちの大地 地球の構造」動画を視聴し、学習メモの確認と理解度チェックに取り組む。	

＜定期考査対策について＞ ○考査前に教科書・図説を熟読しよう。 ○まとめプリントで現象の整理をしよう。 ○研究ノートの問題を必ず解こう。 ○考査後は不正解の問題はやり直そう。	＜対外模試対策について＞ ○2年生の段階では、模試を受けた後に解答解説を利用して復習をし、重要事項の再確認をして下さい。
---	---